

# VW9906

ゴルフ3【1HA】 POLO【6NA】SRS 付車用取説

装着前に必ずお読み下さい。

- ・理論上、運転席エアバック(以下:SRS)を取り外しても、警告灯が消灯されていればハンドル以外のエアバッグは作動するはずですが、完全な作動は保証出来ません。
- ・運転席 SRS を取り外すことにより、任意保険の契約内容の変更の手続きが必要になる場合があります。ご加入の保険会社にお問い合わせください。
- ・純正ステアリングにホーン以外のスイッチ類が装備されている車種は、その機能が使用出来なくなります。本体側で操作して下さい。
- ・本製品は 2 ピース構造になっており、上部(アッパー)と下部(本体)はボルトで工場出荷時に仮止めしてあります。
- ・稀に車両の電気的特性により、SRS警告灯が消灯できない場合があります。ご了承下さい。
- ・純正ハンドルの取り外しについては各自動車メーカーの整備指示書(解説書)に従って作業してください。本書での取り外しはあくまでも参考程度にしてください。
- ・バッテリー端子を取り外すことによりオーディオやパワーウィンドウが初期化されます。復元方法は事前にお調べください。
- ・ステアリングは重要保安部品に該当しますので、しかるべき知識や技術をお持ちの専門店へ作業を依頼してください。

装着手順

## 1. 作業開始準備

作業前に**タイヤ**と**ステアリングホイール**を直進状態にして下さい。

## 2. バッテリー端子の取り外し

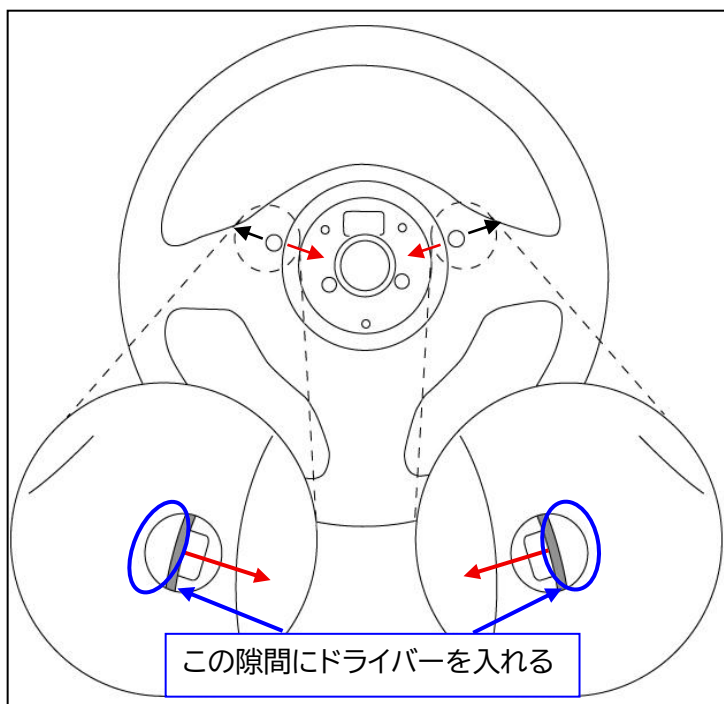
バッテリーのマイナス端子を外してください。

(作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。)

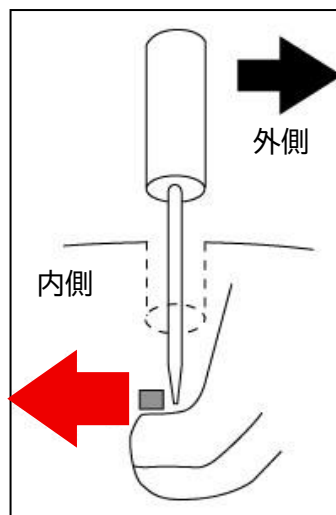
## 3. SRS本体の取り外し

全長が100mm 前後の細いマイナスドライバーを用意します。

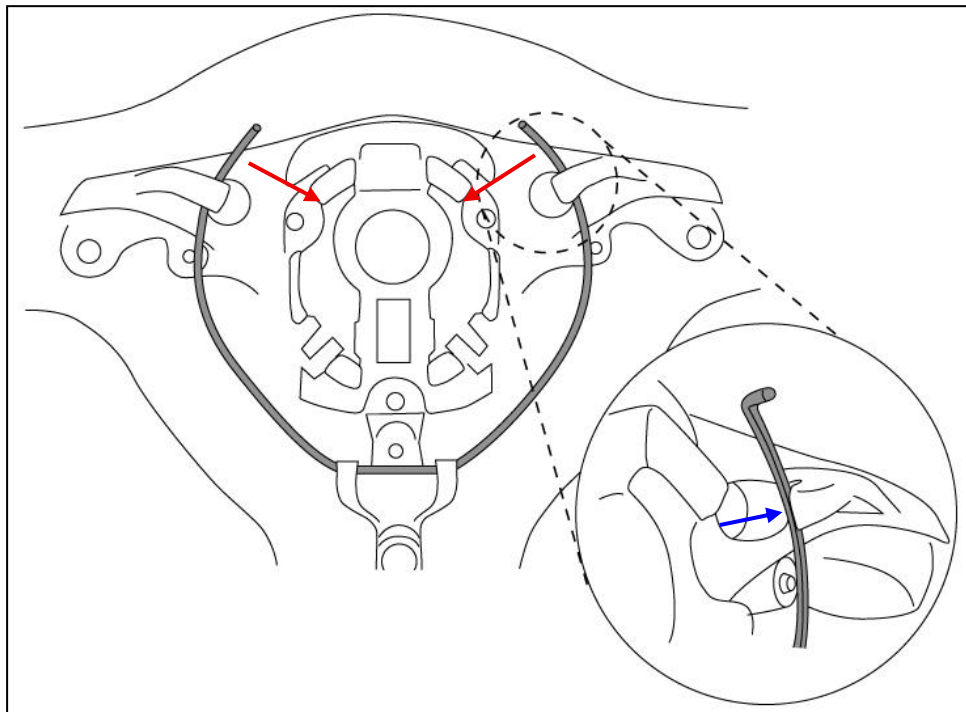
それ以上の長さの物はメーターパネルに接触するため作業が困難になります。



・ステアリングを直進状態から左右にそれぞれ90度回し、裏のホールからマイナスドライバーでスプリングロックを解除します。ホールの入口から約**43mm**の深さにスプリングロックがあり、ドライバーの角度によっては



スプリングロックを通過して奥に入ってしまいます。約30mmの所でスプリングを探ってください。ドライバーの柄を**赤い矢印**の方向に動かしてスプリングロックを外します。左右(上下)ともロックを外して下さい。SRS 本体を軽く引っ張りながら行くと、外しやすくなります。



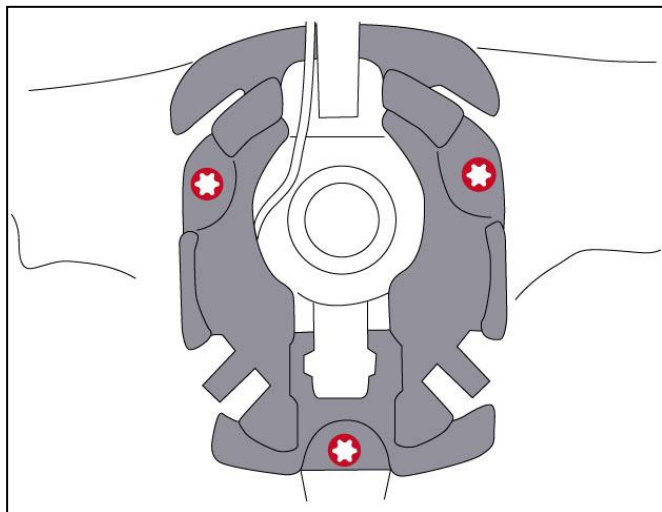
**正面から見た図**

ステアリング裏側から**青矢印**の方向にドライバーを入れてロックを**赤矢印**の方向に動かすイメージです。

SRS 本体が外れたら車体側につながっているカプラーを外し、SRS本体を取外して下さい。

**！ 取外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。(テスター等も含む)**

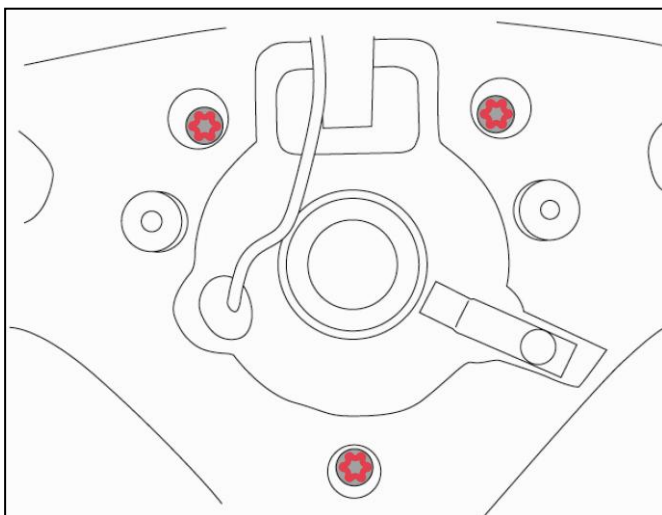
**4. ダイナミックウェイトの取り外し**



**ステアリングを直進状態に戻します。**

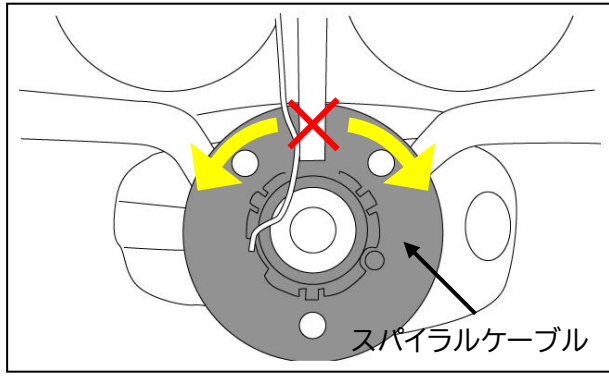
トルクスレンチ T20 を使用して、ダイナミックウェイトを固定している3本のトルクスボルトを取り外してください。(赤点の位置)

**5. スパイラルケーブルのボルト取り外し**



ダイナミックウェイトを取り外すと、ステアリングにスパイラルケーブルを固定しているトルクスボルト3本が出てくるので、トルクスレンチを使いネジを取り外してください。

## 6. ステアリングの取り外し

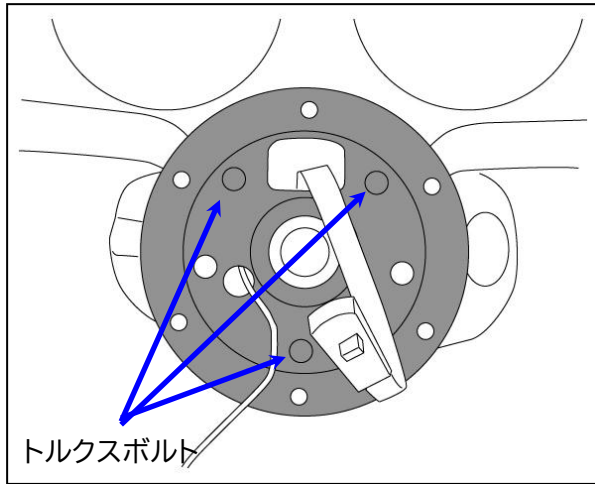


車両の整備指示書を参考にステアリングを取り外します。

ステアリングを完全に外す前にシャフトの先端などにトップの目印をつけておくと、ボスを装着する際にわかりやすくなります。

この時車体側スパイラルケーブルは絶対に回さないで下さい、左右の回転数が決まっていますので、回転させてからボスを取り付けると中の配線を切断します。

## 7. ボスの下側(本体)の取り付け



六角レンチ5mmを使用してボスの上側(アッパー)と下側(本体)を分離してください。

四角い窓を真上にして、6で印を付けた角度に合わせステアリングシャフトに挿し込みます。ボスのセンターが良ければセンターナットを手で軽く締め付け仮止めしてください。

※1山以下のズレはボスでは修正できません。作業終了後にタイロッドにて調整してください。

5で外したスパイラルケーブル取り付けボルト 3本を取り付けてください。

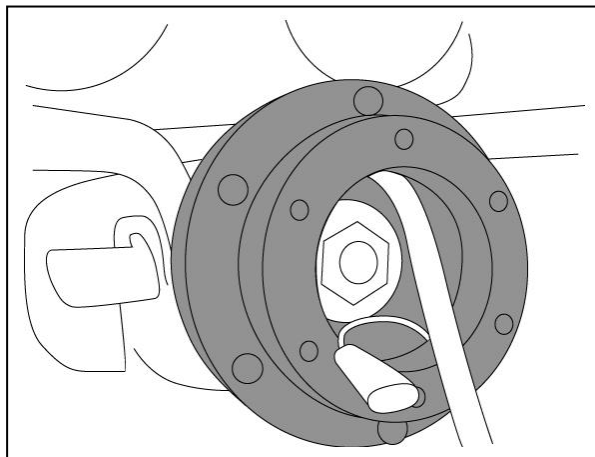
## 8. SRS配線の処理

付属のエアバッグキャンセラーを車両側のエアバックカプラーに接続してください。

極性はありませんので接続する位置はどちらでも構いません。接続後は抜け防止のため絶縁テープ等で固定してください。

注:SRS警告灯の消灯を100%保証しているわけではありません。車両の電気的な特性の個体差で、消灯できないもしくは時間が経ってから点灯してしまう場合が稀にあります。ご了承ください。

## 9. アッパー取り付け



ホーン配線などを挟み込まないように気を付けて、TOPマーク(・)を12時方向にして7で外したボルトをトルクレンチにて均等に締め付けしてください。締め付けトルクは  $9\text{N}\cdot\text{m}$ 。

締め付け後、ボスカバーを被せます。ボスカバーがコラムカバーにあたる場合はカッターなどで切って調節してください。この時怪我には十分注意して下さい。

## 10. ステアリングの取り付け

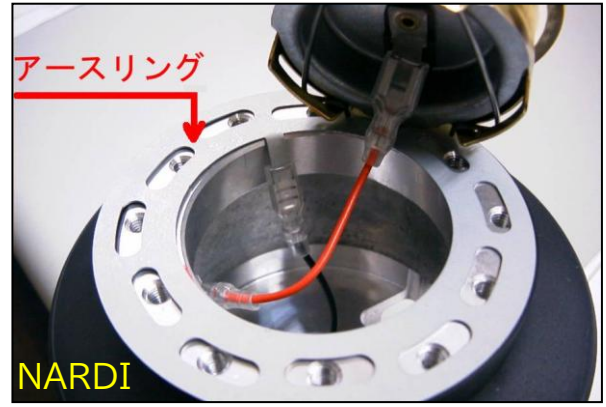
ステアリングホイールをホーンリング(カッターリング)及びアースリングを必要に応じ挟んでボスに取り付けます。モモサイズのホーンボタン(φ50)はホーンリングを使用し、ナルディサイズのホーンボタン(φ55)はホーンリングを使用しません。

アースリングは2極タイプのホーンボタンにのみ使用します。1極タイプのホーンボタンには使用しません。ステアリング取り付け後に、付属の変換配線をアースリングとホーンボタン裏のアース端子に取り付けします。

(まだホーンボタンは取り付けしません。)

ステアリングを付属のネジで締め付けします。ステアリングの種類により使い分けてください。

ネジの締め付けトルクは  $676\text{N}\cdot\text{cm}$  です。



## 11. ボスの本締め付け

純正センターボルトを規定トルクにて締め付けしてください。締め付けトルクは  $30\text{N}\cdot\text{m}$  です。

## 12. ホーンボタンの取り付け

ホーンのプラス線をホーンボタンのプラス端子に挿し込み、ボスに取り付けて下さい。

2 極端子のホーンボタンの場合はどちらがプラスかマイナスか確認して接続してください。

## 13. 作業終了

バッテリーのマイナス端子を元に戻し、エンジンをかけて SRS 警告灯が消灯することを確認し、ホーンが鳴ることが確認できれば終了です。

作業終了後、パワーウィンドウとオーディオの復元をしてください。

注: 取外したSRSモジュールは純正ステアリングに取付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。

株式会社ワークスベル

株式会社ワークスベル 〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email: support@worksbell.co.jp

URL: <http://www.worksbell.co.jp>